

よねさとづくり通信

No.137

よねさとづくり協議会
令和3年7月1日発行



区長部会が開催されました

6月12日（日）、第4回区長部会が開催されました。その中で、鳥取市の令和5年度予算に向けた地区要望のとりまとめスケジュール等が示されました。また、10月22日、23日に予定する米里まつりの開催方針など当面の課題への取り組みについて協議を行いました。

地区要望は、各町内会から7月20日（水）までに提出していただきます。

<主な協議結果>

- 「米里まつり2022」・・・感染対策を行い、飲食や演技などの観覧も可能とするなど、昨年度より内容を充実する方向。よねさとづくり協議会で方針決定の上、実行委員会を組織する。
- 町内会特別配分金・・・多くの住民が参加し、つながりを深める事業や行事を自治会が支援する特別配分金（上限1万円）の交付要項を定める。申請締切は、8月7日（日）予定の区長部会。
- 町内会中途入退会の扱い・・・世帯数基準日を1月1日と定め、年度中途の入退会は翌年から反映させる。

移手段を確保するために一緒に考えましょう

6月12日（日）、市から交通政策課長ほか担当2名にお越しいただき、米里地区を含む市内の公共交通の現状、それをふまえた行政や他地区の取り組みについて説明を受け、町内会長をはじめとする参加者約20名と意見交換を行いました。

<説明ポイント>

- ・利用者減、運転手減により、バス路線廃止やタクシー営業所の廃止などが進んでいる。
- ・乗合タクシー「米里線」の利用者もR3年は月に8人程度。R4はさらに減少。
- ・市は、利用促進、バス路線等再編、新たな移手段導入に取り組む。
- ・共助交通にも有償と無償があるが、それぞれ一長一短あり。
- ・それぞれの地域の実情に合ったかたちを考えていくことが必要

乗合タクシー「米里線」については、近く市や(株)日本交通と運行経路やダイヤについて見直し協議していく予定ですが、それでも利用されなければ廃止となります。

こうした状況を踏まえ、自治会に「地域交通検討委員会（仮称）」を設置し、米里地区に合った地域交通のかたちを模索していく予定です。一緒に考えていただけるかたはご連絡ください。



町内会より ～ 雲山中央 ～

今から約40年前、現在の雲山地区は一面の田畑でしたが、近隣の工場や公共施設等の進出に伴い開発が進み、今では閑静な住宅街として変貌を遂げました。したがって由緒ある名刹、古刹はなかなかありませんが、公園や飲食店、医院、理髪店、クリーニング店など生活環境が整っており、学生や子育て世代も多く暮らしています。通りすがることがありましたら、あちこちから聞こえる子どもたちの笑い声に耳を澄ませてみてください。（梅林一成 雲山中央町内会長）



1975年ごろの雲山



現在の雲山

田んぼダムの実証研修に参加しました



6月17日（金）、農業試験場にモデルほ場を設け実証研修が実施され、米里地区からも関係者が参加しました。いくつかの区画をつくり、ゆっくり溜まり、落水していく貯留効果を比較しながら、有効性を実際に確認することができました。

また、流域治水をイメージする模型展示も行われました。

参加者からは「実際に見せてもらい、効果がよくわかった」「稲の生育状況を見て効果を検証したい」という感想もありました。7月以降あと4回開催予定ですので、ぜひ参加してみてください。（次回は7月29日です）



ウクライナ人道危機救援金へのご協力 ありがとうございました

自治会が提唱し、人権啓発推進協議会の協賛で、2か月間公民館に募金箱を設置していたウクライナ人道危機救援金を、6月6日、福田自治会長が日本赤十字社県支部の小林事務局長へ贈呈しました。

集まった34,973円にのぼるご厚志の中には、1円玉から1万円札まであり、幅広い世代の皆様のお気持ちが伝わってきました。ご寄付いただいた皆様ありがとうございました。

